

チャペル週報

No.10

2013.6.10～6.14

真理を得よ、
知恵も論しも分別も手放すな。

(箴言23:23)



西宮聖和キャンパス ダッドレーメモリアルチャペル

関西学院宗教センター

☆チャペル・スケジュール☆

時間 10:35～11:05 場所 各学部チャペル

- 6月10日(月) 神 「震災を覚えて」 礼拝⑫ 神学部メガホンプロジェクト
経 舟 木 讓 (宗教主事)
人 献血実行委員会
聖和 聖書物語「神さまからの十のいましめ」
-
- 6月11日(火) 院 中 田 道 隆 (神学研究科M2)
神 細 川 正 義 (文学部教授)
文 音楽チャペル ゴスペルクワイアP.O.V.
社 世界市民として生きる① 中 道 基 夫 (神学部教授)
法 栗 林 輝 夫 (宗教主事)
経 音楽チャペル バロックアンサンブル
商 献血実行委員会
国 于 康 (国際学部教授)
聖和 宮 脇 貢 (校友課課長)
総 鎌 田 康 男 (総合政策学部教授)
-
- 6月12日(水) 神 <奨学金授与と礼拝> 小 豆 真 人 (日本基督教団東梅田教会牧師)
社 世界市民として生きる② 岡 田 弥 生 (社会学部教授)
法 English Chapel Christian Morimoto Hermansen (宣教師)
経 English Music Chapel Timothy Dale Boyle (宣教師)
商 音楽チャペル 聖歌隊
国 音楽チャペル (2) ゴスペルクワイアP.O.V.
聖和 芝 田 正 夫 (教育学部教授)
理 関西学院室内合奏団
総 村 瀬 義 史 (宗教主事)
-
- 6月13日(木) 神 岩 野 祐 介 (神学部准教授)
文 Andreas Rusterholz (宗教主事)
社 献血実行委員会によるチャペル
法 栗 林 輝 夫 (宗教主事)
経 舟 木 讓 (宗教主事)
商 English Chapel Timothy Dale Boyle (宣教師)
国 English Chapel 榎 本 悟 (国際学部教授)
聖和 ペンテコステ礼拝「見えないものを信じるこころ」川上 盾 (東神戸教会牧師)
総 朴 勝 俊 (総合政策学部准教授)
-
- 6月14日(金) 神 村 瀬 義 史 (総合政策学部宗教主事)
文 English Chapel Andreas Rusterholz (宗教主事)
経 「経済と人間①」 岡 田 敏 裕 (経済学部准教授)
人 音楽チャペル 聖歌隊
聖和 「みんなで礼拝」吉 新 ば ら (キリスト教教育・保育研究センター)
理 前 川 裕 (宗教主事)
-

◇ランバス早天祈祷会 毎金曜日 8:20～8:40 ランバス記念礼拝堂 (上ヶ原)

6月14日(金) 聖和幼稚園のために 赤 木 敏 之 (聖和幼稚園副園長)

「八重の桜」に思う

松 浦 克 博

6月14日は、新島八重の命日にあたります。今、大河ドラマは戊辰戦争の最中、キリスト教との関わりはまだ見えません。八重は、1875年（明治9年）、新島襄と出会い、兄覚馬とともに受洗、その後はクリスチャンとして多くの業績を残しました。会津藩の「什の掟」、「ならぬものはならぬです。」悲惨な戦場を経験し、武士としての誇りを貫いた彼らが、一見価値観の違う、信仰をどのように受け入れたのでしょうか。

明治期の代表的なクリスチャン、新渡戸稲造と内村鑑三。南部藩出身の新渡戸は名著「武士道」を世界に向けて著し、高崎藩出身の内村は自分の信仰を「武士道に接ぎ木したキリスト教」と述べました。幕末には、「知行合一」を教える陽明学が、多くの武士達に影響を与えました。「義を見てせざるは勇無きなり。」キリスト教と武士道はこの点で相通ずる価値観を見いだしたのです。

今年、「武士道とキリスト教」を著した笹森建美氏は、元青山学院中学の宗教主任、現駒場エデン教会牧師、また小野派一刀流宗家でもあります。同派は、柳生新蔭流とともに、江戸期の二大流派で、建美氏の父、笹森順三は、東奥義塾塾長、青山学院院長を歴任した信仰者で、また一刀流の名人として、剣道界に広く知られた人物でした。建美氏は「どちらも人の死に方、生き方を真剣に問う「道」です。（中略）言い換えれば、どちらもいかに死ぬかによって生を見つめ、いかに死ぬかによって生を追究しているのです。」と述べています。勿論、同氏も書かれていますが、人間の行動規範である武士道と、人間を超えた領域の宗教とでは、次元が違います。しかし、それでも尚、宗教を受け入れる精神的基盤として、武士道が共通性を持っていたと言えます。

明治期の関学を導いた第二代院長、吉岡美國、彼もまた、京都の士族の家に生まれ、ベーツ院長はその人物を評して「武士道とクリスチャニティーのもっとも高貴な徳を合わせ持つ人物」と述べています。1899年（明治33年）の訓令第12号問題に際し、「聖書と礼拝無くして学院なし」と断言した言葉に、「ならぬものはならぬ」の気概が感じられます。

Mastery for Service の原点は、The truth shall make you self-master.（真理は汝等をして自主たらしめる）でしょう。Self-master とは、「自己に打ち克つ人間」「自分の弱さを乗り越える人間」であり、それは、新渡戸が武士道の徳の一つとした「克己心」につながります。

世界市民 × グローバル人材。文化の違いを超えて、世界に「共通」する精神性をどう結びつけられるか、それが「グローバリゼーション」の課題であると感じます。

（高等部副部長）

●ランバスチャペル・ヌーンコンサート

西宮上ヶ原キャンパスの正門を入れて右手に見えるチャペル「ランバス記念礼拝堂」では、礼拝はもちろん、コンサートや式典、講演会、卒業生の結婚式などが行われています。関学を代表する音楽団体による恒例のヌーンコンサートも、残り2団体となりました。お昼休みのごとき、どうぞ耳を傾けてみてください。

6月10日(月) 関西学院交響楽団弦楽アンサンブル

6月13日(木) 関西学院ゴスペルクワイア Power Of Voice

いずれも 12:50～13:20

ところ：ランバス記念礼拝堂（西宮上ヶ原キャンパス）

主 催：宗教センター・宗教音楽委員会

●夏の献血週間のお知らせ

学生会宗教総部では、夏の献血週間を実施いたします。提供していただく血液は、兵庫県赤十字血液センターでの検査を経て医療現場に届けられます。皆様のご協力をお願いします。

期 間：6月17日(月)～21日(金)

受付場所：吉岡記念館ラウンジ

主 催：宗教総部献血実行委員会

●関西学院会館の日曜礼拝

授業期間中の第二・第四日曜日に、教職員と学生有志による礼拝が行われます。一部英語を用いるバイリンガル形式です。どなたでも参加できますのでどうぞお越しください。

6月23日(日) 10:00～11:00

関西学院会館ベーツチャペル

●大阪梅田キャンパスチャペル

阪急梅田駅から徒歩すぐ、アプローズタワー 14 階の大阪梅田キャンパスでは、授業期間中の毎週金曜日にチャペルアワーを開催しています。(18:00～18:20 1405 教室)

6月14日(金) 平林孝裕 (国際学部宗教主事)

6月21日(金) 山本俊正 (商学部宗教主事、院長補佐)

6月28日(金) Andreas Rusterholz (文学部宗教主事)

●CD・DVDライブラリー

吉岡記念館事務室宗教センターには、教会音楽、キリスト教に関するCDやDVDを備えています。本学学生及び教職員(学生証または身分証明書必要)であればどなたでも利用できますので、希望者は事務室までお越しください。

●使用済み切手収集にご協力ください

本学では日本キリスト教海外医療協力会(JOCS)切手部の活動に協力し、使用済み切手の収集をしています。通常切手も対象としていますのでどうぞ吉岡記念館常設の回収箱にお届けください。

●盲導犬育成のためご協力をお願いします

関西学院宗教活動委員会は、目の不自由な方々の社会参加促進を願い、社会福祉法人「日本ライトハウス」の募金活動に協力しています。吉岡記念館事務室はじめ各学部カウンターに募金箱を用意しておりますので皆様の温かいご協力をお願いいたします。